



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年2月5日

上場取引所 東

上場会社名 サトーホールディングス株式会社

コード番号 6287 URL http://www.sato.co.jp

代表者 (役職名) 代表取締役執行役員社長兼最高経営責任者 (氏名) 松山一雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員兼最高財務責任者 (氏名) 櫛田晃裕 TEL 03-6665-0639

四半期報告書提出予定日 平成25年2月13日

配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	64,954	8.5	3,785	12.0	3,546	23.2	1,597	61.7
24年3月期第3四半期	59,858	1.5	3,379	3.3	2,878	4.6	988	△28.6

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 2,679百万円 (ー%) 24年3月期第3四半期 △27百万円 (ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	53.06	47.86
24年3月期第3四半期	32.82	ー

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	74,310	37,899	50.8	1,254.61
24年3月期	74,830	36,172	48.3	1,201.02

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 37,775百万円 24年3月期 36,162百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	ー	17.00	ー	18.00	35.00
25年3月期	ー	17.00	ー		
25年3月期(予想)				19.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	87,000	8.0	5,400	16.1	5,200	24.7	2,500	28.0	83.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 一社（社名）一、除外 一社（社名）SATO INTERNATIONAL PTE. LTD.
（注）詳細は、添付資料P. 4「当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
② ①以外の会計方針の変更：無
③ 会計上の見積りの変更：有
④ 修正再表示：無

（注）「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

- (4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期3Q	32,001,169株	24年3月期	32,001,169株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	1,891,595株	24年3月期	1,891,242株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期3Q	30,109,747株	24年3月期3Q	30,110,217株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】P. 4「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
(6) セグメント情報等	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の当社グループを取り巻く経営環境は、海外においては、欧州経済の停滞や、中国を始めとするアジア地域での景気低迷に改善が見られないまま厳しい状況が続きました。国内においては、東日本大震災からの復旧が徐々に進むなど、企業の生産活動や個人消費は緩やかな回復傾向にありましたが、世界経済の減速の影響もあり設備投資需要に繋がる本格回復には至らず、依然として景気の先行きは不透明な状況が続きました。

このような環境の中、当社グループは、本年度を起点とする新たな中期経営計画(～2014年度)を策定し、「グローバル化と顧客価値の最大化を追求する」ことを基本戦略に、持続可能な成長力と収益基盤を確立することを経営目標に掲げ、以下の方針に沿った諸施策を実行に移しております。

- ①日本の事業部制の成功を国別に移植
- ②新興国成長市場の開拓
- ③高収益サプライ事業の確立
- ④収益力強化(事業、用途、製品、コスト)
- ⑤全体最適化(IT、SCM、財務、人財育成)
- ⑥環境ビジネス本業化

これらの活動の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は64,954百万円(前年同四半期比108.5%)、営業利益3,785百万円(同112.0%)となりました。経常利益は3,546百万円(同123.2%)、四半期純利益については、繰延税金資産の取り崩し等により1,597百万円(同161.7%)となりました。

セグメント別の状況は以下のとおりであります。

<日本>

市場別に構成した各事業部がその専門性を活かし、顧客ニーズを捉えた積極的な提案を行ってまいりました。国内需要は引き続き堅調に推移している状況に変わりないものの、当第3四半期連結会計期間においては、電子プリンタを中心とするメカトロ製品需要において、製造業、小売業向けへの設備投資需要に減速傾向がみられました。一方、サプライ製品については、東日本大震災以降に見られる二社購買の動きや価格競争の影響を受けましたが、着実に顧客深耕が進むなど、当第3四半期連結会計期間及び当第3四半期累計期間においても過去最高の売上高を記録しております。今後、コストダウンへの取り組みを強化するとともに、円高修正に伴う企業収益の改善期待が高まる中、成長市場の開拓や用途提案による新たな需要獲得を見込んでおり、事業拡大に向けた営業活動を一層強化してまいります。

これらの取り組みにより、売上高は48,781百万円(前年同四半期比105.2%)、営業利益3,273百万円(同103.0%)となりました。

<米州>

北米市場においては、大手運送業向けやメディカル市場向けにプリンタ需要があったほか、OEM向け食材の消費期限管理システム商談や、アパレル向けラベル・タグの印字受託事業が活発化するなど売上の回復傾向が顕著なものとなりました。また、南米市場においては、2012年3月に買収したシール・ラベル製品の製造販売を手掛けるACHERNAR社(アルゼンチン)の売上が順調に寄与しております。

これらの活動の結果、売上高は5,279百万円(前年同四半期比122.4%(為替影響を除く前年同四半期121.1%))、営業利益200百万円(同292.2%)となりました。

<欧州>

欧州債務危機問題による経済活動の低迷の影響を受け売上が伸び悩んだことで、損益の回復は緩慢なものに留まりました。このような環境の中、ドイツでは大手百貨店向けに値下管理商談の成約、英国では大手運輸、百貨店向けにラベル商談が成約するなど、販路開拓の成果が出てまいりました。これら、シール・ラベル製品の事業拡大に合わせる形で印刷設備の更新、増強を進めており、安定的な事業基盤の確立と収益力向上への施策を強化しております。

これらの取り組みにより、売上高3,933百万円(前年同四半期比89.2%(為替影響を除く前年同四半期比94.4%))、営業損失155百万円(前年同四半期は営業損失171百万円)となりました。

<アジア・オセアニア>

アジア各国で製造業、大手流通業、公共プロジェクトへの需要開拓への取り組みを行うとともに、日本からの支援を一層強化するなど、積極的な営業活動を展開しております。中国に引き続き、タイ、ベトナム、インドネシアを日本直轄として国内事業との連携を強化するなど、成長市場の需要を取り込む施策を実施しております。オセアニアでは、大手百貨店向け値下管理商談や、大手乳製品製造メーカーとの包括サービス契約も寄与し順調に売上を伸ばしました。

また、2012年1月に買収したARGOX社(台湾)との連携を通じ、相互の販売チャネルを活用した製品供給を開始するなど、新興国市場開拓のスピードを上げ競争優位性を確立してまいります。なお、当第3四半期連結会計期間では、中国経済の減速と領土問題等の影響により売上減少がありましたが、安定の兆しが見えてまいりました。

これらの取り組みにより、売上高は6,960百万円(前年同四半期比146.2%(為替影響を除く前年同四半期比145.1%))、営業利益430百万円(同112.1%)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、74,310百万円となり、前連結会計年度末と比較して520百万円の減少となりました。その主な要因は、現金及び預金、のれんの減少等によるものです。なお純資産は、配当金の支払いを行ったこと、為替換算調整勘定が増加したことなどにより1,726百万円増加し、37,899百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、10,348百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,029百万円の減少となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは2,650百万円の増加(前年同四半期比132.9%)となりました。

主なプラス要因は税金等調整前四半期純利益3,404百万円、減価償却費1,412百万円及びたな卸資産の減少額404百万円等であり、主なマイナス要因は売上債権の増加額570百万円、法人税等の支払額3,243百万円等であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は1,420百万円(前年同四半期比212.5%)となりました。

主な要因は、有形固定資産の取得による支出810百万円、無形固定資産の取得による支出418百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは2,569百万円の減少(前年同四半期比138.2%)となりました。

主な要因は、配当金の支払額1,047百万円、短期借入金の減少額5,961百万円があった一方で、新株予約権付社債の発行による収入5,000百万円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の業績の見通しにつきましては、日本の市場別各事業部による大手顧客深耕や用途開拓に伴い、第4四半期に向けて一段の売上増を見込んでいるほか、アジア・オセアニア地域における引き合いも活発なことが見込まれます。一方で当第3四半期連結累計期間までの実績を鑑み、通期の連結業績予想は以下のとおり見込んでおります。

通期の連結業績予想

売上高	87,000百万円	(前回予想	88,000百万円)
営業利益	5,400百万円	(同	5,800百万円)
経常利益	5,200百万円	(同	5,200百万円)
当期純利益	2,500百万円	(同	2,600百万円)

なお、為替レートにつきましては、第4四半期連結会計期間の前提を1米ドル=88円、1ユーロ=118円としており、当連結累計期間では1米ドル=82円、1ユーロ=106円を想定しております。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

前連結会計年度において連結子会社でありましたSATO INTERNATIONAL PTE. LTD. は、平成24年11月22日に清算終了したため、連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、当該変更が当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,613	11,687
受取手形及び売掛金	19,611	20,332
有価証券	143	125
商品及び製品	6,262	6,383
仕掛品	330	179
原材料及び貯蔵品	1,695	1,751
その他	4,061	4,321
貸倒引当金	△86	△90
流動資産合計	44,632	44,690
固定資産		
有形固定資産		
土地	7,654	7,656
その他（純額）	10,047	10,399
有形固定資産合計	17,702	18,055
無形固定資産		
のれん	5,125	4,870
その他	1,464	1,462
無形固定資産合計	6,590	6,333
投資その他の資産	5,905	5,231
固定資産合計	30,198	29,619
資産合計	74,830	74,310
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,734	5,095
短期借入金	9,889	4,119
未払金	12,465	13,182
未払法人税等	2,167	163
引当金	254	250
その他	4,109	3,936
流動負債合計	33,621	26,748
固定負債		
新株予約権付社債	—	5,000
長期借入金	1,800	1,128
退職給付引当金	1,268	1,286
その他	1,967	2,246
固定負債合計	5,036	9,662
負債合計	38,657	36,411

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,331	6,331
資本剰余金	5,799	5,799
利益剰余金	28,904	29,447
自己株式	△3,459	△3,459
株主資本合計	37,575	38,118
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△0	0
為替換算調整勘定	△1,412	△342
その他の包括利益累計額合計	△1,412	△342
少数株主持分	10	123
純資産合計	36,172	37,899
負債純資産合計	74,830	74,310

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
売上高	59,858	64,954
売上原価	34,522	37,915
売上総利益	25,335	27,039
販売費及び一般管理費	21,956	23,254
営業利益	3,379	3,785
営業外収益		
受取利息	34	37
受取配当金	0	0
受取賃貸料	78	106
その他	91	70
営業外収益合計	204	214
営業外費用		
支払利息	85	83
為替差損	510	236
その他	110	133
営業外費用合計	706	453
経常利益	2,878	3,546
特別利益		
固定資産売却益	1	6
新株予約権戻入益	14	—
特別利益合計	15	6
特別損失		
事業再編損	116	—
固定資産除却損	6	7
固定資産売却損	0	2
投資有価証券評価損	4	—
為替換算調整勘定取崩額	—	138
特別損失合計	128	148
税金等調整前四半期純利益	2,765	3,404
法人税、住民税及び事業税	1,579	520
法人税等調整額	196	1,281
法人税等合計	1,776	1,802
少数株主損益調整前四半期純利益	989	1,602
少数株主利益	0	4
四半期純利益	988	1,597

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	989	1,602
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	0
為替換算調整勘定	△1,016	1,076
その他の包括利益合計	△1,016	1,076
四半期包括利益	△27	2,679
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△27	2,667
少数株主に係る四半期包括利益	0	11

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,765	3,404
減価償却費	1,409	1,412
のれん償却額	65	615
固定資産売却損益(△は益)	△1	△3
固定資産除却損	6	7
事業再編損失	116	—
為替換算調整勘定取崩額	—	138
引当金の増減額(△は減少)	△98	△22
貸倒引当金の増減額(△は減少)	20	51
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△44	6
受取利息及び受取配当金	△34	△37
支払利息	85	83
為替差損益(△は益)	△156	20
売上債権の増減額(△は増加)	△2,349	△570
たな卸資産の増減額(△は増加)	△19	404
仕入債務の増減額(△は減少)	△12	216
未払金の増減額(△は減少)	208	777
その他	220	△562
小計	2,179	5,942
利息及び配当金の受取額	34	35
利息の支払額	△85	△83
法人税等の支払額	△552	△3,243
法人税等の還付額	419	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,994	2,650

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△39	△447
定期預金の払戻による収入	68	454
投資有価証券の取得による支出	△112	△16
有形固定資産の取得による支出	△402	△810
有形固定資産の売却による収入	15	45
無形固定資産の取得による支出	△251	△418
事業譲受による支出	—	△291
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△43	—
その他	97	63
投資活動によるキャッシュ・フロー	△668	△1,420
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△124	△5,961
長期借入金の返済による支出	△508	△508
新株予約権付社債の発行による収入	—	5,000
配当金の支払額	△1,049	△1,047
その他	△177	△51
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,859	△2,569
現金及び現金同等物に係る換算差額	△368	310
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△901	△1,029
現金及び現金同等物の期首残高	10,813	11,377
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△85	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,826	10,348

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	日本	米州	欧州	アジア・オセアニア	合計
売上高					
外部顧客への売上高	46,377	4,312	4,409	4,759	59,858
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,305	40	191	3,976	7,514
計	49,683	4,352	4,600	8,736	67,373
セグメント利益又は セグメント損失(△)	3,177	68	△171	384	3,458

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,458
セグメント間取引消去	△10
のれんの償却額	△24
棚卸資産の調整額	△43
その他の調整額	△0
四半期連結損益計算書の営業利益	3,379

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自平成24年4月1日至平成24年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	日本	米州	欧州	アジア・ オセアニア	合計
売上高					
外部顧客への売上高	48,781	5,279	3,933	6,960	64,954
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,019	63	168	3,784	7,035
計	51,801	5,342	4,102	10,744	71,990
セグメント利益又は セグメント損失（△）	3,273	200	△155	430	3,748

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	3,748
セグメント間取引消去	14
のれんの償却額	△33
棚卸資産の調整額	58
その他の調整額	△3
四半期連結損益計算書の営業利益	3,785

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。